

平成 21 年度事業報告

社団法人日本滑空協会

総 括

特例民法法人の公益法人・一般法人選定の猶予期間 5 年の初年度が終了しました。当協会にとって平成 21 年度第 2 回総会において会員の 3/4 以上の賛成を得て、新法人定款の承認をいただいたことは大きな前進でした。なお、基本財産の DART の処理問題が課題として残されております。

本年度は、年度初めから始まった景気低迷に大きな影響を受けた一年でした。協賛金の減収だけでなく、滑空界全体が活動低下し、指定養成施設入所者数やフライトイベント参加者数の減少、当初計画していた日本滑空選手権やクラブクラス滑空競技会の中止に至りました。このような実情により、補助金の承認を受けても実施不可ないし実施規模が小さ過ぎる等の事由で補助金の活用ができず、結果的に厳しい財政状態になりました。

また滑空機統括団体として、自家用操縦士技量維持に関する法制化準備や航行型モーターグライダーのトランスポンダー搭載について、ヒアリング、意見具申を航空局に対し行いました。昨今の国内航空情勢の変化に対し、滑空界の利益代表として、更なる客観情報掌握の必要性を痛感した一年であったともいえます。

他方、過年度から推進してきた日本滑空記章制度は順調に進展し、多くの大学航空部が申請するとともに、滑空競技会においては、参加選手の競技科目相応の記章保持が必要との認識が常識化してきたといえます。技量に見合った飛行こそ安全の基礎であると考え、本制度が安全性向上に寄与するものと期待して、一層これを推進させます。さらに、初めての試みであった実技形式講習（ナビゲーション講習会）が好評を得たこともあり、今後も需要の多い各種イベントの充実を図るようにします。

I. 滑空スポーツの技量維持・向上に関する事業

1. グライダーパイロットの養成（指定航空従事者養成施設）

自家用操縦士の養成 本年度は下記 7 名を養成

期	訓練所	修了日	修了者	
1	関宿	6月15日	2	石井通孝 前谷康裕
2	宝珠花	6月15日	2	伊澤 諒 宮井雄大
3	中航連	4月16日	3	杉浦三津夫 中山昌昭 山本裕彦

指定航空従事者養成施設運営委員会 定例運営委員会(第1回 2009.5.16 第2回 2010.3.20)

2. 講習会・トレーニング

2-1 安全飛行大会 協賛：トヨタ自動車㈱

飛行の安全と技量向上を目的に、異常姿勢(スピン、ストールなど)の状態を実際に体験し、正常姿勢への回復操作を学ぶトレーニングを座学と併せて実施した。(使用機体：福井 ASK-21 関宿 Super-Blanik) スポーツ振興くじ助成金対象事業として計画、実施したが、事業規模との関係から助成申請を最終辞退した。

福井大会(2009.9.19～21 於福井県 福井空港)

参加者数 25名 教官：佐々木正司氏 田中 廣氏 担当：吉田正克氏 甲賀大樹氏 田口 昇氏

関宿大会(2009.11.21～22,12.6 於千葉県 関宿滑空場)

参加者数 14名 教官：高尾啓史氏 船木 稔氏 担当：坂井正一郎氏 甲賀大樹氏

2-2 ナビゲーション講習会

チャートの読み方、航法計算板、航法用定規の基本的な使い方を学び、航法計画書を実際に作成する実技形式の講習会を春と秋の2回実施した。

第1回 2009.4.18 第2回 2009.9.5 於東京都 航空会館会議室

講師：第1回 坂井正一郎氏 鈴木重輝氏 第2回 鈴木重輝氏 高尾啓史氏
 参加者数 第1回 11名 第2回 10名

2-3 航空安全講習会(技量維持連絡会)

国土交通省航空局通達による“自家用操縦士の技量維持に係るガイドライン”に基づく講習会を開催(全29回)。このうち当協会主催講習会として5回、他団体主催講習会への講師派遣は2回。
 講習会運営にあたり、(社)日本航空機操縦士協会が(財)空港環境整備協会の助成を受け、当協会ほか、(社)日本飛行連盟、NPO 法人 AOPA-J、全国自家用ヘリコプター協議会と技量維持連絡会を構成、隔月に連絡会議をもち、講習会を企画、実施した。講師総数 89名のうち当協会推薦認定講師は34名。連絡会は5回開催された(5/14、7/9、10/1、12/10、2/12)。

認定講師研修会 4～6月	東京・北海道(札幌)・大阪・宮城(仙台)・熊本・愛知(名古屋)において計7回開催			
航空安全講習会	日時	開催場所	受講者数	講師
	4/11	北海道 (講師派遣)	48	池田 亨氏「ヒヤリハットが語るものは」
	4/19	埼玉 (講師派遣)	53	植田展生氏「航空機事故について」
	7/4	栃木	47	篠原治男氏「航空機事故と雷」 大門禎広氏「栃木県の雷(雷の発生と移動の予想)」(招聘講師) 三浦日出男氏「宇都宮周辺の航空事情」(招聘講師)
	10/3	岡山	16	森崎喜弘氏「ATCを使いこなそう」 坂井正一郎氏「ミスの連鎖を断ち切ろう」
	11/28	愛知	32	吉田 茂氏「人間パイロットの安全確保」 坂井正一郎氏「ミスの連鎖を断ち切ろう」
	1/16	三重	23	坂井正一郎氏「ミスの連鎖を断ち切ろう」 植野廣園氏「航空安全の四方山話～セントレア空港の運用と最近のATCの変更・応用術等」(招聘講師) 野田迪郎氏「衝突回避とアドバイス～ATCを活用しよう」 寺西哲也氏「グライダーパイロットの安全対策～飛行機曳航とクロスカントリーの注意点」(招聘講師)
	2/20	東京	80	植田展生氏「最近の事件事例紹介」 鈴木重輝氏「自衛隊訓練空域および横田空域飛行時の注意」

3. 国内滑空記章認定登録、交付業務

① 本年度(2009.4.1～2010.3.31)記章認定登録実績 (カッコ内は年度内登録分のバッジ交付数)

A章 123件(23) B章 92件(14) C章 59件(12) 銅章 40件(12)

昨年度の登録数と比べ微減はしているものの、概ね6割が昨年度から継続して上位章を取得しており、制度そのものの浸透率は上がっている。また、新規の試験員として6名が登録された。

② 本年度内試験員の各章認定実績

相島正敏氏(4) 朝倉英仁氏(4) 池田 亨氏(7) 板倉増彦氏(8) 伊藤克憲氏(12) 井上善雄氏(2)
 内海敬三氏(13) 江頭創一氏(2) 岡村治彦氏(2) 奥平光保氏(17) 小野一夫氏(7) 小野 淳氏(2)
 加藤隆士氏(1) 小林英次氏(4) 小宮英二氏(13) 榊原飛鳥氏(26) 佐々木泉氏(4) 佐志田伸夫氏(1)
 茂田慶一氏(4) 篠原治男氏(3) 下平一晴氏(9) 田中 廣氏(13) 玉中宏明氏(4) 都築位兆氏(14)
 土屋宣幸氏(14) 富山 普氏(24) 中村則之氏(2) 蜷川忠三氏(2) 万場泰雄氏(2) 日口裕二氏(13)
 深田 浩氏(17) 藤森義治氏(3) 堀田省二郎氏(18) 水川 毅氏(5) 三輪一弘氏(3) 山田徳義氏(22)
 吉田 茂氏(1) 吉田正克氏(9) 和田捷征氏(3)

4. 競技会支援ならびに国際大会への選手派遣、推薦、後援事業

4-1 当協会名義後援競技会

- ・ 第 27 回久住山岳滑翔大会(2009.5.17～23 於大分県 久住滑空場)
最優秀選手(基本滑翔競技)へ盾ならびに賞状授与
基本滑翔競技最優秀選手賞 湯田坂直樹(東海大)
- ・ 第 13 回原田覚一郎杯大学対抗グライダー競技大会(2009.8.8～16 於埼玉県 妻沼滑空場)
団体・個人優勝者へ盾ならびに賞状、団体(2～3 位)、個人(2～6 位)へ賞状授与
(団体)原田覚一郎杯 日本大学 A チーム 団体準優勝 東海大学 A チーム 第 3 位 日本大学 B チーム
(個人)最優秀選手賞 金田康宏(日大) 優秀選手賞 湯田坂直樹(東海大) 第 3 位 齋藤允教(日大)
第 4 位 井口知彦(青山学院大) 第 5 位 山田哲也(東海大) 第 6 位 富岡航平(青山学院大)
- ・ 第 12 回全日本学生グライダー新人競技大会(2009.10.11～17 於岐阜県 木曾川滑空場)
個人優勝者へ盾ならびに賞状、団体優勝者へ賞状授与
(団体)優勝 慶應義塾大学 (個人)優勝 小林聡一(慶應大)
- ・ 第 49 回全国七大学総合体育大会航空の部(2010.2.24～3.3 於千葉県 関宿滑空場)
大会審判委員長として坂井常務理事が就任
団体・個人優勝者へ賞状授与
(団体)優勝 名古屋大 (個人)優勝 金井謙二(名古屋大)
- ・ 第 50 回全日本学生グライダー競技選手権大会(2010.3.6～14 於埼玉県 妻沼滑空場)
大会顧問として牧野会長が就任
団体・個人優勝者へ盾ならびに賞状授与
(団体)優勝 慶應大学 A チーム (個人)優勝 星野佑介(慶應大)
- ・ 第 39 回早慶対抗グライダー競技会(2010.3.16～22 於埼玉県 妻沼滑空場)
団体・個人優勝者に盾ならびに賞状授与
(団体)優勝 慶應義塾大学 (個人)優勝 星野佑介(慶應大)

4-2 当協会奨励対象競技会

- ・ 第 12 回東京六大学対抗グライダー競技会(2009.8.23～27 於埼玉県 妻沼滑空場)
団体・個人優勝者へ賞状授与
(団体)優勝 慶應義塾大学 (個人)優勝 後藤真徹(慶應大)
- ・ 第 6 回関関同立対抗グライダー競技会(2009.10.31～11.6 於岐阜県 木曾川滑空場)
個人優勝者へ賞状授与
(団体)優勝 関西大学 (個人)優勝 竹山翔太(同志社大)

4-3 国際競技会選手派遣／出場支援・結果報告

- ・ 第 15 回欧州滑空選手権大会(15th FAI European Gliding Championships 2009)
(2009.6.27～7.11 於スロヴァキア共和国 ニトラ)
18m クラス 22 位 市川 展氏(Ventus 2xca)／31 名
- ・ 第 5 回女子世界滑空選手権大会(5th FAI Women's World Gliding Championship 2009)
(2009.7.26～8.8 於ハンガリー共和国 セグド)
スタンダードクラス 15 位 廣常朱美氏(LS8)／16 名
- ・ 第 13 回グライダー曲技世界選手権大会(13th FAI World Glider Aerobatic Championship 2009)
(2009.7.9～7.19 於チェコ共和国 ホラン)
24 位 梶 智就(Solo Fox SP-8000)／34 位

4-4 その他後援事業

- ・ 日仏合作グライダー100年記念講演会式典(2009.12.9 於東京都 東京大学安田講堂)

II. 滑空スポーツの普及に関する事業

1. イベント関係

- 1-1 スカイ・レジャー・ジャパン'09 インふくしま(2009.10.17~18 於福島県 ふくしまスカイパーク)
運航委員:坂井常務理事を中心に、福島モーターグライダークラブ、京浜ソアリングクラブの協力のもと、グライダー(日飛ピラタス B4)による曲技飛行とモーターグライダー(G109B)による編隊飛行を企画、実施。その他、ディモナの組立披露、地上展示、展示ブースの出展をした。
- 1-2 NSSP 空まつり 2009(2009.11.8 於千葉県 関宿滑空場) 主催:野田スカイスports振興会
京浜ソアリングクラブの協力のもと、Dart の組立披露、展示を行った。
- 1-3 第15回スカイスportsシンポジウム(2009.12.5 於東京都 日本大学理工学部駿河台校舎)
主催:(財)日本航空宇宙学会
担当:植田展生氏(実行委員)

2. 関係諸団体への情報提供・答申・提言

2-1 法規関係

- ① 航空法第79条但し書の審査基準改正に関するヒアリング(2009.5.27 於 国土交通省航空局)
- ② 自家用操縦士技量維持に関するアンケート調査(2009.7.6 於 国土交通省航空局)
- ③ トランスポンダーに関するヒアリングおよび意見具申
- ④ 航空機操縦士技能証明制度に関するヒアリング(2009.8.27、2010.2.12、3.12 於 (社)日本航空機操縦士協会)

2-2 空域関係

- ① 関東西部地区飛行連絡会定例会(2009.7.18 於 航空自衛隊入間基地) 担当:鈴木重輝氏
- ② 第8回下総航空基地周辺飛行安全会同(2009.12.21 於 海上自衛隊下総航空基地) 担当:鈴木重輝氏
- ③ 関東平野空域における空中衝突防止会議(2010.1.10、3.20 於 横田米軍基地) 担当:鈴木重輝氏

III. 滑空スポーツ統括団体としての事業

1. 関係諸団体との交流、情報交換

航空スポーツ連絡会(2010.3.3 於東京都 航空会館) 担当:甲賀大樹氏
(財)日本航空協会より統括団体として認定されている各種航空スポーツ8団体と国土交通省航空局レジャー航空指導室から構成され、FAI 関連報告ならびに各団体の年間報告がなされた。

2. FAI 関連

国際航空連盟滑空委員会(IGC)委員として土屋宣幸氏、FAI 国際医事委員会(CIMP)委員として嶋田和人氏を(財)日本航空協会を通じて推薦、委嘱した。

嶋田氏は昨年度に引き続き CIMP 副委員長を務めた。

- ① CIMP 委員会(2009.9.4~6 於クロアチア ザグレブ)
- ② IGC 委員会総会(2010.3.5~6 於スイス ローザンヌ)

3. 表彰関係

- 3-1 FAI 賞推薦(受賞伝達式:2009.9.26「空の日」 於東京都 航空会館)
エア・スポーツ・メダル 中塚総一郎氏

3-2 日本記録樹立者表彰式(2009.9.16 於東京都 航空会館)

市川 展氏

- ・自由三角コース距離(2009.2.27 認証)
- ・三角コース距離(2009.2.27 認証)
- ・500km 三角コース速度(2009.2.27 認証)

4. 機関誌発行・HP 運営

4-1 機関誌(JSA INFO)

内容の充実化を図るため、これまでの年間6回の刊行から年3回の刊行に変更し、年度内刊行分(No.288～290)のうち、No.290から編集作業を一部外部委託にした。

国内外の滑空スポーツ事情や滑空クラブ等の活動報告を掲載し、会員ならびに関係諸団体等に頒布した。

JSA INFO 編集会議(第1回 2009.9.5 第2回 2009.12.5 第3回 2010.3.13)

4-2 HP 運営

サイト内にグライダー愛好家のための掲示板を新設し、パイロットの間で情報交換のツールとして活用してもらえるようにした。バナーを多用したレイアウトにすることで、使用利便の向上を図った。

5. スポーティングライセンス

スポーティングライセンス申請代行業務(一部共済事業)

会員については、交付申請書を受付後、申請料は協会が負担し、統括団体としての承認後、(財)日本航空協会へ代行して申請した。会員外からの申請の場合は、統括団体として審査、承認後、(財)日本航空協会へ申請。

現ライセンス保有会員数 190名(新規4名 更新8名 継続178名)

IV. 法人管理業務

1. 本年度開催会議

通常総会 全2回(第1回 2009.5.16 第2回 2010.3.20)

理事会 全2回(第1回 2009.5.16 第2回 2010.3.20)

常務理事会 全2回(第1回 2009.6.16 第2回 2009.11.18)

2. 会員情報

総会員数 651名(2010.3.31 現在、前年度 666、-15名)

内訳：正会員 625名 Jr.会員 18名 団体会員 8

本年度入会者数 23名(正会員 14名 Jr.会員 9名)

以上